

## 令和5（2023）年度東京大学大学院法学政治学研究科総合法政専攻修士課程学生募集要項の変更点について

2022 年度実施の総合法政専攻修士課程入学試験は、募集要項に以下のような変更を加えて実施します。なお、B 選抜に関する記述の変更点については後日の案内となります。

A 選抜、C 選抜、D 選抜については、筆記試験に代わり、研究計画書等を用いた書類審査を行い、それに合格した者につき、オンラインでの口述試験を行います。

### 1. 出願資格

変更ありません。

### 2. 募集人員及び選抜方法

「(3) 入学者の選抜は、次の方法による。」の部分、以下のように変更します。変更箇所を下線を引いてあります（以下同じ）。

#### ・ A 選抜の「選抜方法」部分

研究計画書（共通版）、オンライン口述試験、出身学校の学業成績による。ただし、希望者は小論文を提出することができる。この場合、提出された小論文も書類審査の資料となる。

#### ・ C 選抜の「選抜方法」部分

研究計画書（共通版）、オンライン口述試験、出身学校の学業成績、日本語の学力による。ただし、希望者は小論文を提出することができる。この場合、提出された小論文も書類審査の資料となる。

#### ・ D 選抜の「選抜方法」部分

研究計画書（共通版）、外国語の能力を証明する書類（提出しなかった者については、口述試験において試問を行うことがある）、オンライン口述試験、出身学校の学業成績、実務上の経験及び能力に関する推薦による。ただし、希望者は小論文を提出することができる。この場合、提出された小論文も書類審査の資料となる。

#### ・ 5 ページの「注 2）」の部分

「小論文」については、後掲「6. 出願手続 (2) カ。」を参照。

### 3. 試験科目

筆記試験を行いませんので、この部分の記述は適用されません。

### 4. 試験期日及び場所

筆記試験は行いません。また、「(2) 口述試験」の部分を「令和4(2022)年9月16日(金)、9月20日(火)、9月21日(水)の3日間のうち、いずれか1日を指定する。」に変更します。

### 5. 合格者の発表及び入学手続

変更ありません。

### 6. 出願手続

「(1) 出願方法」において、「ア. 出願は郵送に限る。」とされていますが、海外からの出願については、郵便事情により郵送での出願が困難な場合のみ、インターネットでの出願も可とします。ただし、後日、出願書類の郵送が可能になった段階で、書類本体一式を郵送で提出する必要がありますので、その点にご注意下さい。インターネットでの出願を行う場合には、事前に大学院チーム宛にメールを送って下さい(送付先: jin.j[at]gs.mail.u-tokyo.ac.jp ([at]を@に置き換えて下さい))。書類提出方法についての詳細を返信メールでお知らせします。メール本文には氏名と連絡先メールアドレスを明記するようにして下さい。

「(2) カ.」を以下の通り変更します。

#### カ. 小論文

A選抜、C選抜、D選抜の出願者は、小論文として、①当該専門分野に関するもので、**6,000～12,000** 字程度の日本語で書かれたもの、又は、②当該専門分野に関するもので、**1,500～3,000 words** 程度の英語で書かれたもののうち、いずれか一通(原則としてワープロ、A4判とする。)を提出することができる。この場合、提出された小論文も書類審査の資料となる。

なお、小論文は、出願書類とは別の提出となるので注意すること。提出期限(7月末を予定)および提出方法の詳細については、後日、ホームページで告知する。

#### ク. 返信用封筒

定形封筒（長形3号 23.5cm×12cm）の封筒に出願者本人の宛名を記入し、344円分の切手を貼ること。（本研究科指定の封筒は使用しない。）

ただし、日本国外に在住する出願者で、宛先を日本国外とする者は、切手を貼らずに「国際返信切手券」を15枚同封し、提出すること。なお、「国際返信切手券」の入手が困難な場合は、出願前のできるだけ早い時期に本研究科大学院チームに問い合わせること。

「(2) サ.」として、以下の記述を追加します。

#### サ. 研究計画書（共通版）

A選抜、C選抜、D選抜すべての出願者が研究計画書（共通版）を提出しなければならない。研究計画書（共通版）の作成要領は別紙書式（A4判）の冒頭に記載してあるので、こちらをよく読んで作成すること。

これに伴い、(5)（C選抜について）及び(6)（D選抜について）の中で記載されている研究計画書の提出は不要となります。

#### オンライン口述試験について

オンライン口述試験の実施方法と受験のための準備については、総合法政専攻のホームページ [http://www.j.u-tokyo.ac.jp/admission/graduate/master/guidance\\_master/](http://www.j.u-tokyo.ac.jp/admission/graduate/master/guidance_master/)（に掲載）で後日説明しますので、そちらを確認してください。

#### 注意事項

入学願書について、以下の点にご注意ください。

まず、「小論文の有無（A選抜受験者のみ）」欄および「筆記試験受験希望の有無（C選抜在外受験者のみ）」欄ならびに「受験科目」の「専門科目」欄の記入は不要です。

「受験科目」の「外国語」欄には、筆記試験が行われたときに受験する予定であった外国語を記入してください。D選抜についても、外国語能力を証明する書類を提出できなかった場合には「外国語」欄の記入が必要です。口述試験において外国語についての試問を行う場合があります。

「本研究科外国人研究生在学中の者へ」を以下の通り変更します。

本研究科外国人研究生在学中の者で、C選抜（外国人特別選抜）に出願する者は、募集要項 6. (2)カ. の小論文に代えて、任意で研究報告書を提出することができる。その場合、募集要項 2. (3)の選抜は、研究報告書を含めて行う。研究報告書は後日ホームページで告知する期限（7月末を予定）および方法により提出すること。

- ・当該専門分野に関するもので、**5,000**字程度のもの（日本語に限る）。
- ・原則としてワープロ、**A4**判とする。

※本研究科外国人研究生在学中の者は、**6. 出願手続(3)**日本語能力証明書の提出は免れる。

「修士課程出願書類の作成について」を以下の通り変更します。

### 3. 小論文

A・C・D選抜：小論文の提出を希望する者は、後日ホームページで告知する期限（7月末を予定）および方法により、受付期間内に提出すること。

### 4. 研究計画書（共通版）（A・C・D選抜出願者）

ワープロで打った紙を貼付する場合は、所定の用紙をはみ出さないように注意すること。なお、鉛筆による記入は認めない。

以上